

2019年3月期 第3四半期 決算補足資料

2019年2月8日

NECキャピタルソリューション株式会社

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

目次

1. 2019年3月期第3四半期 実績

- 1) 連結決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要（連結）
- 4) 事業別収益（連結）
- 5) 事業別契約実行高の状況（連結）
- 6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）
- 7) ファイナンス事業の営業状況（連結）
- 8) リサ事業の営業状況（営業利益）
- 9) 営業資産残高の状況（連結）
- 10) 資金調達の状況（連結）
- 11) 与信関連費用（連結）

2. 2019年3月期 計画

- 1) 連結業績予想

1. 2019年3月期第3四半期 実績

1. 2019年3月期第3四半期 実績

1) 連結決算ハイライト

【事業環境】

- ・リース取扱高は前年同期比3.7%増加
- ・資金調達環境は引き続き良好な状況を維持
- ・倒産状況については、件数、負債総額ともに前年同期比減少となり、総じて安定推移

【営業実績】

- ・賃貸・割賦事業における契約実行高・成約高共に前年同期比増加
- ・ファイナンス事業についても前年同期比増加

<賃貸・割賦事業>

契約実行高： **10.1%増** 成約高： **6.1%増**

<ファイナンス事業>

契約実行高： **8.0%増** 成約高： **8.7%増**

【経営成績】

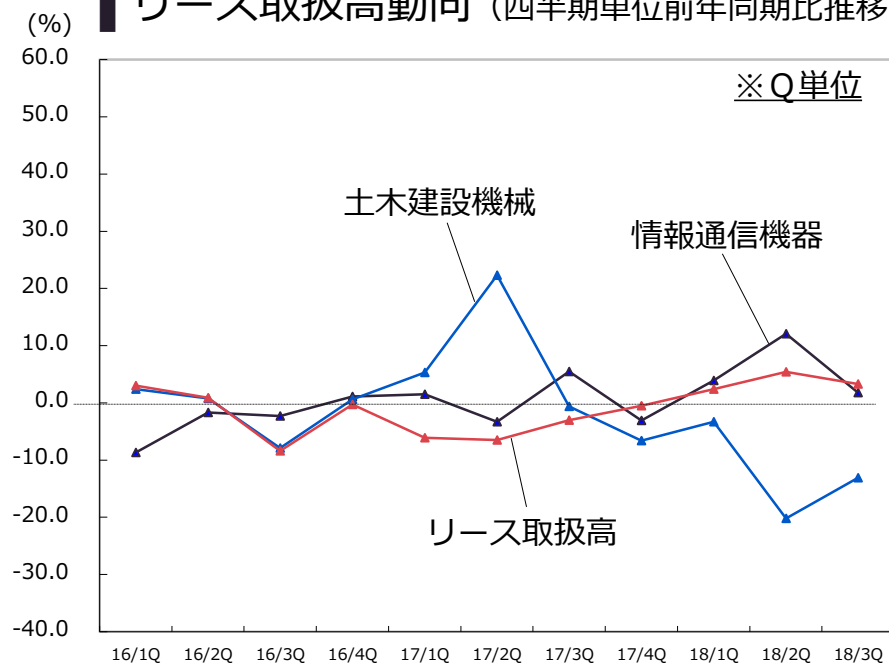
- ・前年同期にリサのファンドビジネスで大型案件計上があったことから、売上、利益共に前年同期比減少となるが、利益計画比では計画を上回る進捗

1. 2019年3月期第3四半期 実績

2) 事業環境

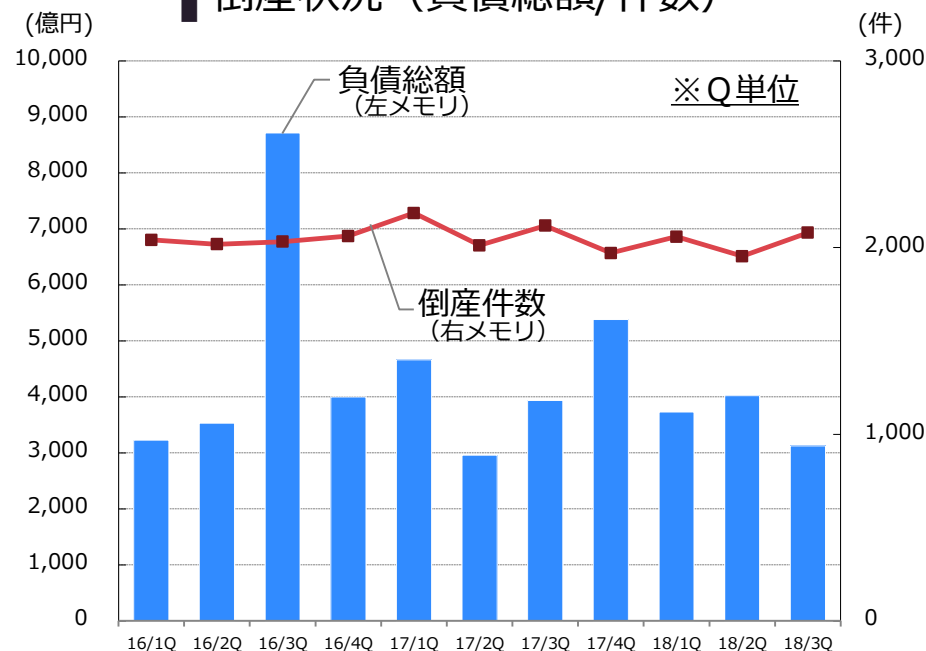
- ・リース取扱高：業界全体のリース取扱高については前年同期比3.7%の増加
当社の主力である情報通信機器は前年同期比5.9%の増加
- ・倒産状況：18年12月期における倒産件数については前年同期比微減
負債総額においても、前年同期比減少と総じて安定推移

リース取扱高動向（四半期単位前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

1. 2019年3月期第3四半期 実績

3) 業績概要（連結）

- ・売上高 : 賃貸・割賦事業の売上増加等があったものの、前年同期にリサ事業の大型ファンド収益の計上があり前年同期比2.4%の減少
- ・経常利益 : 前年同期のリサ事業における大型案件計上に加え、為替評価等により前年同期比31.3%の減少

業績数値

(単位：億円)

	2018/3期 3Q	2019/3期 3Q	前年同期比
売上高	1,593	1,555	▲2.4%
営業利益	120	83	▲30.8%
経常利益	120	82	▲31.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	56	48	▲15.2%
1株当たり四半期純利益	261円 11銭	221円 53銭	—
営業資産残高	8,083	8,049	▲0.4%
純資産	1,085	1,023	▲5.7%
自己資本	838	876	+4.6%
自己資本比率 (%)	9.4	10.1	+0.6
1株当たり中間配当金 (円)	22	25	+3.0

経常利益 前年同期比主要増減要因

(単位：億円)



1. 2019年3月期第3四半期 実績

4) 事業別収益（連結）

事業別収益

（単位：億円）

		2018/3期	2019/3期	
		3Q	3Q	前年同期比
賃貸・ 割賦事業	売上高	1,222	1,249	+2.2%
	売上総利益	82	81	▲1.3%
	営業利益	37	35	▲5.2%
ファイナンス 事業	売上高	48	46	▲4.9%
	売上総利益	39	35	▲9.2%
	営業利益	25	26	+2.7%
リサ 事業	売上高	169	131	▲22.2%
	売上総利益	108	75	▲29.9%
	営業利益	76	43	▲44.1%
その他の 事業	売上高	155	129	▲16.7%
	売上総利益	11	9	▲15.5%
	営業利益	▲5	▲7	-
計	売上高	1,593	1,555	▲2.4%
	売上総利益	239	201	▲16.1%
	営業利益	120	83	▲30.8%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<賃貸・割賦事業>>

- ・売上高は、営業資産残高の増加により前年同期比2.2%増加
- ・営業利益は、前年同期に貸倒引当金戻入額の計上があったことから前年同期比5.2%減少

<<ファイナンス事業>>

- ・前年同期に有価証券売却益等の計上があったことから、売上高、売上総利益ともに減少
営業利益は貸倒費用の改善により、前年同期比2.7%増加

<<リサ事業>>

- ・前年同期に、ファンドビジネスの大型売却があったことから、売上高、利益ともに減少

<<その他の事業>>

- ・ヘルスケア関連不動産の売却による賃貸料収入の減少に加え、営業投資有価証券の減損処理等により、7億円の営業損失

1. 2019年3月期第3四半期 実績

5) 事業別契約実行高の状況（連結）

事業別契約実行高

（単位：億円）

	2018/3期 3Q	2019/3期 3Q	前年同期比
貸貸・割賦事業	991	1,092	+10.1%
貸貸事業	952	1,018	+6.9%
割賦販売	39	74	+88.4%
ファイナンス事業	3,368	3,638	+8.0%
営業貸付金	2,758	3,065	+11.1%
一括ファクタリング	609	573	▲6.1%
その他の事業	66	36	▲46.3%
計	4,425	4,765	+7.7%

事業別成約高

（単位：億円）

	2018/3期 3Q	2019/3期 3Q	前年同期比
貸貸・割賦事業	1,351	1,434	+6.1%
貸貸事業	1,319	1,364	+3.5%
割賦販売	32	69	+117.2%
ファイナンス事業	3,342	3,633	+8.7%
営業貸付金	2,732	3,061	+12.0%
一括ファクタリング	609	573	▲6.1%
その他の事業	71	37	▲47.2%
計	4,763	5,104	+7.2%

<<契約実行高>>

- ・ 貸貸・割賦事業については、官公庁・民需領域ともに順調に推移、またファイナンス事業も、個別ファクタリング等が堅調に推移していることから、全体では前年同期比7.7%増加

<<成約高>>

- ・ 契約実行高同様に、貸貸・割賦事業、ファイナンス事業ともに堅調に推移し、全体では前年同期比7.2%の増加

1. 2019年3月期第3四半期 実績

6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）

業種別契約実行高

（単位：億円）

	2018/3期 3Q	2019/3期 3Q	前年同期比
官公庁	479	505	+5.2%
民需	512	587	+14.7%
サービス業	132	146	+10.8%
流通業	193	211	+9.3%
製造業	111	108	▲2.5%
その他	77	123	+59.7%
計	991	1,092	+10.1%

業種別成約高

（単位：億円）

	2018/3期 3Q	2019/3期 3Q	前年同期比
官公庁	857	906	+5.7%
民需	494	528	+6.9%
サービス業	107	128	+20.2%
流通業	195	161	▲17.8%
製造業	97	111	+14.7%
その他	95	128	+35.1%
計	1,351	1,434	+6.1%

（参考）機種別賃貸事業契約実行高

（単位：億円）

	2018/3期 3Q	2019/3期 3Q	前年同期比
情報通信機器	702	739	+5.3%
電子計算機及び関連装置	357	405	+13.6%
ソフトウェア	315	299	▲5.3%
通信機器及び関連装置	30	36	+19.4%
事務用機器	72	115	+58.9%
その他機器	217	238	+9.3%
計	991	1,092	+10.1%

- ・ 契約実行高は、官公庁が堅調に推移した他、ICTレンタル等の強化施策が奏功し、全体で前年同期比10.1%増
- ・ 成約高は、官公庁・民需領域ともに堅調に推移したことで、全体では前年同期比6.1%の増加

1. 2019年3月期第3四半期 実績

7) ファイナンス事業の営業状況（連結）

■ 契約形態別契約実行高

(単位：億円)

		2018/3期	2019/3期	
		3Q	3Q	前年同期比
	立替・APF・割賦バック	146	169	+15.6%
	個別ファクタリング	1,678	1,808	+7.7%
	一括ファクタリング	609	573	▲6.1%
	企業融資	817	970	+18.7%
	その他	117	119	+1.4%
	計	3,368	3,638	+8.0%

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

		2018/3期	2019/3期	
		3Q	3Q	前年同期比
官公庁 民需		7	4	▲39.0%
		2,751	3,061	+11.3%
	サービス業	234	263	+12.2%
	流通業	200	179	▲10.5%
	製造業	1,791	1,944	+8.5%
	金融業・保険業	207	348	+68.3%
	不動産業	136	186	+36.6%
	その他	183	141	▲22.8%
	一括ファクタリング	609	573	▲6.1%
	計	3,368	3,638	+8.0%

- ・ 契約形態別契約実行高においては、個別ファクタリングが引き続き堅調に推移したこと、また海外を始めとした企業融資の増加により、前年同期比8.0%の増加
- ・ 民需における業種別では、金融業・保険業で前年同期比大幅な増加

1. 2019年3月期第3四半期 実績

8) リサ事業の営業状況（営業利益）

（単位：億円）

		2018/3期 3Q	2019/3期 3Q	前年同期比
アセットビジネス	売上高	124	76	▲39.0%
	売上総利益	88	56	▲36.2%
	営業利益	74	40	▲45.0%
不動産	売上高	39	50	+28.6%
	売上総利益	16	14	▲7.4%
	営業利益	10	10	▲4.4%
アドバイザー	売上高	5	5	▲1.2%
	売上総利益	4	5	+9.9%
	営業利益	▲1	▲0	-
のれん他	売上高	0	0	-
	売上総利益	0	0	-
	営業利益	▲7	▲8	-
連結ベース 計	売上高	169	131	▲22.2%
	売上総利益	108	75	▲29.9%
	営業利益	76	43	▲44.1%

前年同期の大型案件計上により、
売上高、売上総利益、営業利益は
それぞれ減収・減益

<<アセットビジネス>>

- ・前年同期に、大型の投資有価証券の売却があったことから、減収減益

<<不動産>>

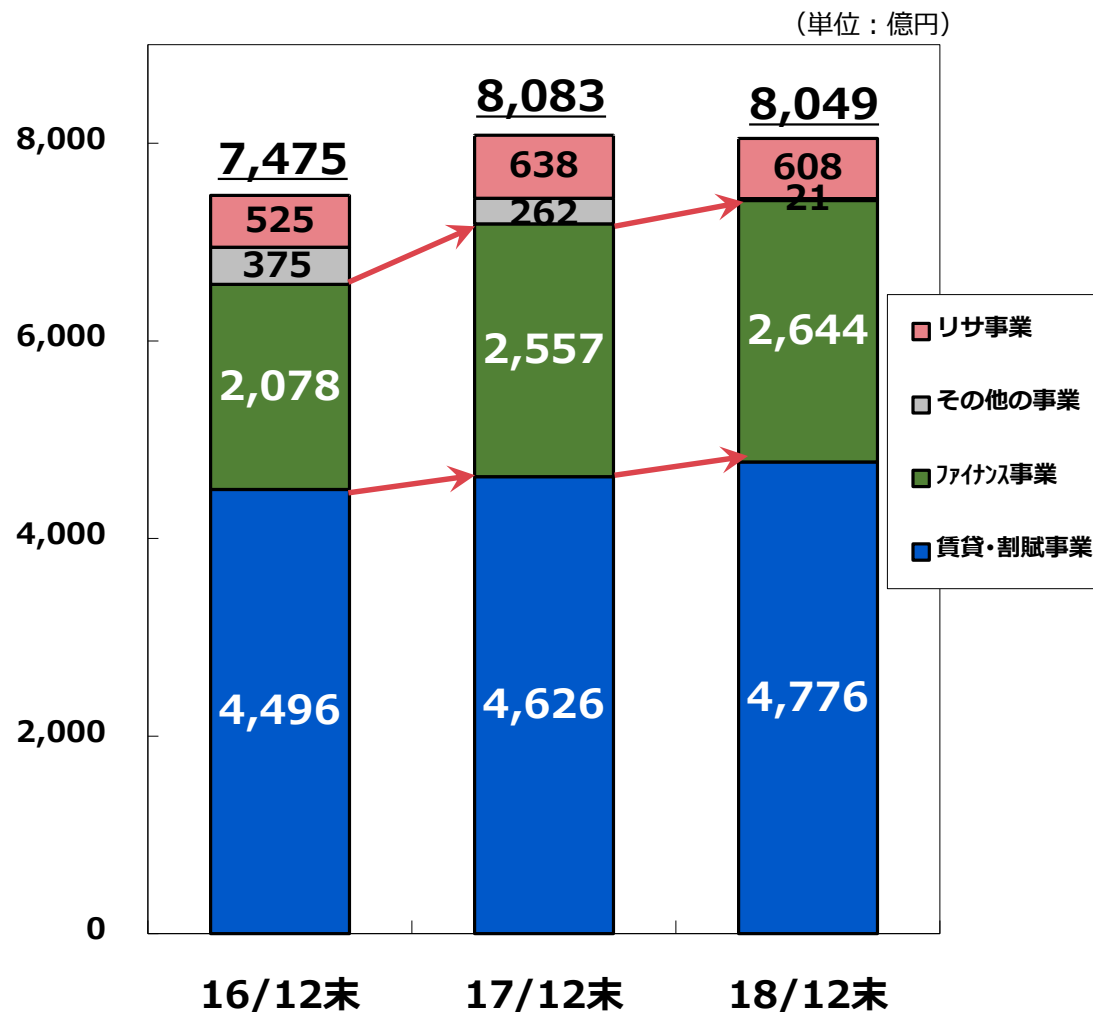
- ・販売用不動産の売却により売上高は増収となるものの、利益段階では減益

<<アドバイザー>>

- ・前年同期並みの収益を確保

1. 2019年3月期第3四半期 実績

9) 営業資産残高の状況（連結）



<<貸貸・割賦事業>>

官公庁が堅調に推移した他、ICTレンタル等の強化施策が奏功し、官公庁・民需共に伸長
前年同期比150億円の増加

<<ファイナンス事業>>

外貨を始めとした企業融資や、割賦バック・立替払等が堅調に推移し、前年同期比87億円の増加

<<その他の事業>>

前年度末にヘルスケア関連不動産を売却したことに伴い、前年同期比241億円の減少

<<リサ事業>>

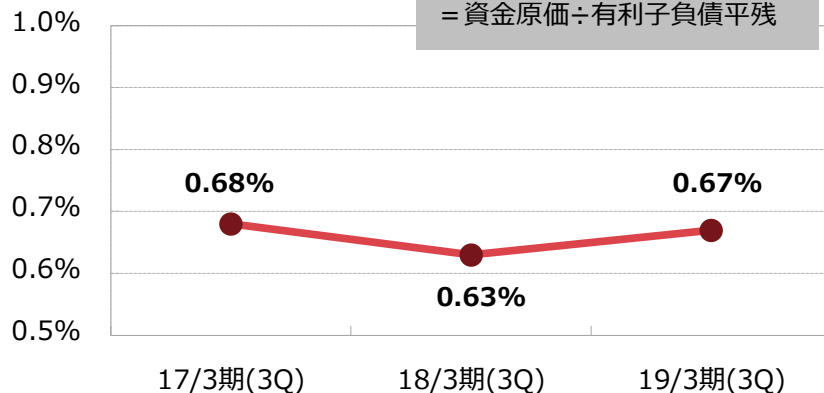
販売用不動産の売却等により前年同期比30億円の減少

1. 2019年3月期第3四半期 実績

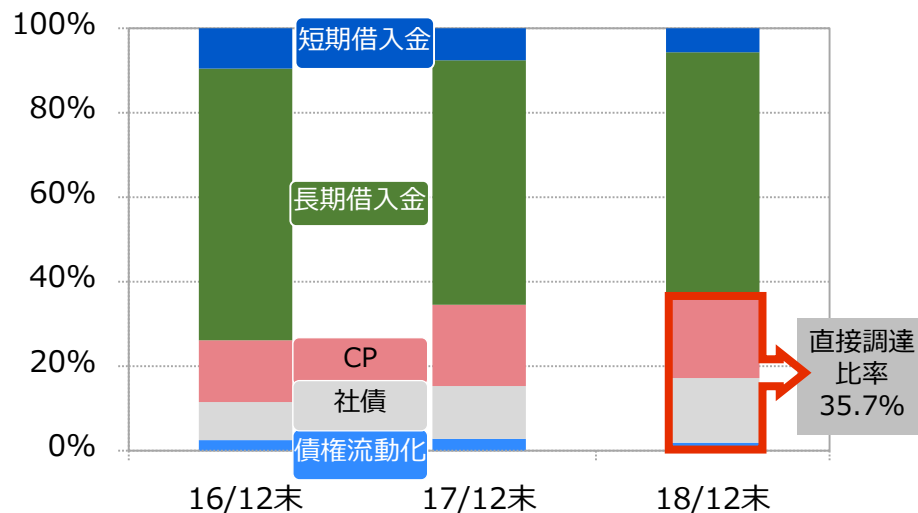
10) 資金調達状況（連結）

資金原価率

資金原価率 (%)
= 資金原価 ÷ 有利子負債平残



有利子負債構成比



有利子負債残高

(単位：億円)

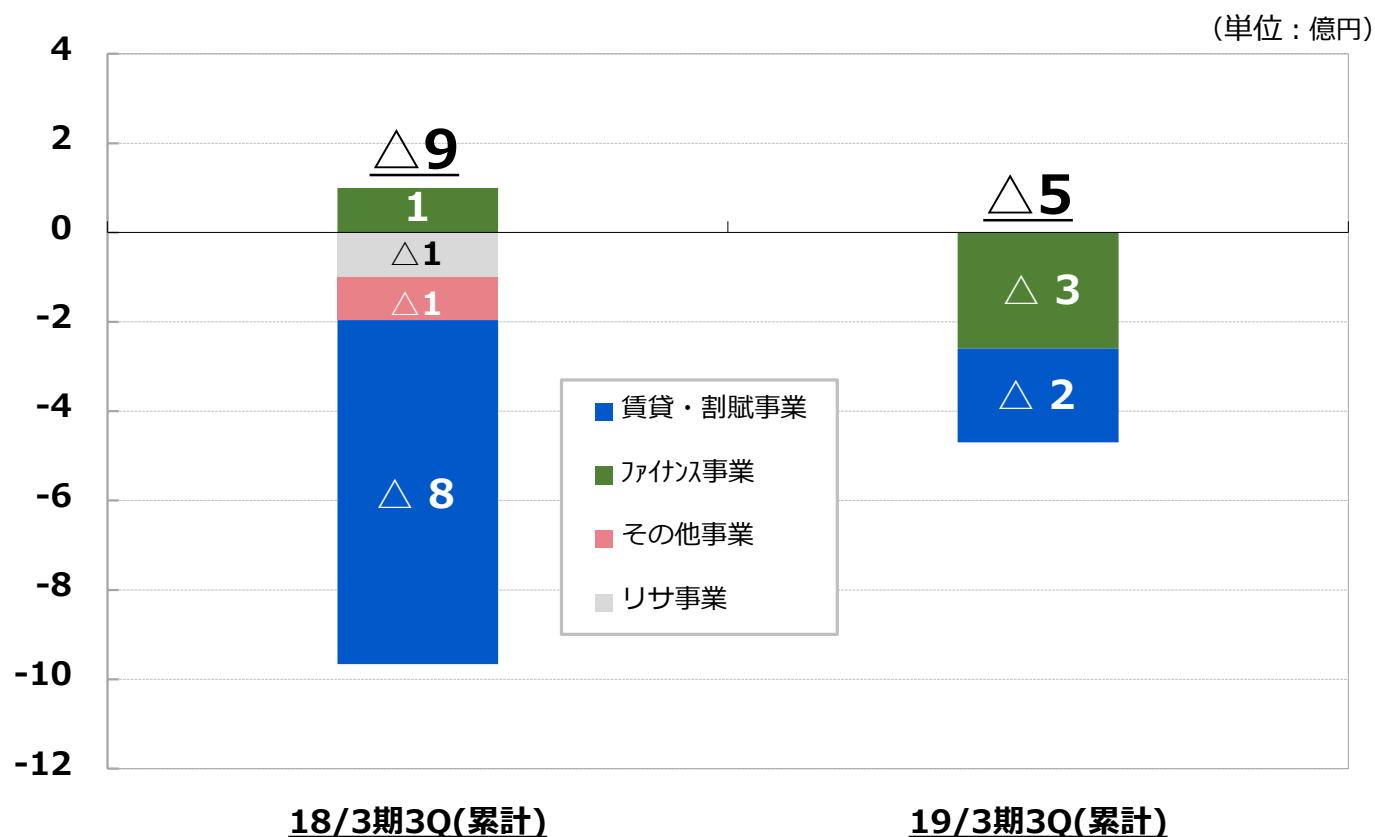
	18/3期 3Q末	構成比	19/3期 3Q末	構成比	増減
短期借入金	549	7.6%	413	5.7%	▲136
長期借入金	4,187	57.9%	4,224	58.5%	+36
CP	1,390	19.2%	1,340	18.6%	▲50
社債	900	12.4%	1,100	15.2%	+200
債権流動化	204	2.8%	138	1.9%	▲66
計	7,231	100.0%	7,215	100.0%	▲16

- ・ 資金原価率は0.67%と前年同期比0.04ポイント増
⇒ 外貨調達における市場金利上昇により増加
- ・ 直接調達比率は上昇
(2017/12末 34.5% → 2018/12末 35.7%)
⇒ CPが減少するものの、社債の積上げにより上昇

1. 2019年3月期第3 四半期 実績

11) 与信関連費用（連結）

- 与信関連費用は、前年同期比4億円の戻入益減少



2. 2019年3月期 計画

2. 2019年3月期 計画

1) 連結業績予想

- ・リサ事業及びファイナンス事業の想定を上回る進捗に加え、販売費及び一般管理費の減少により期首予想を上回る

連結業績予想

(単位：億円)

	実績	予想		期首予想 差異
	2019/3期 第3四半期	2019/3期 期首通期	2019/3期 修正後通期	
売上高	1,555	2,000	2,100	100
営業利益	83	80	90	10
経常利益	82	80	90	10
親会社株主に帰属する純利益	48	40	50	10
1株当たり純利益（円）	221円53銭	185円76銭	232円20銭	-

1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2019/3期 予想	25円00銭	25円00銭	50円00銭
2018/3期 実績	22円00銭	28円00銭	50円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン
お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

 **Orchestrating** a brighter world

NEC